

健康・安全管理の手引き

福岡県立英彦山青年の家

入所前の保健指導について

- 事前に研修者の健康調査を行い、健康状態を把握してください。
健康面で気になる研修者には、事前に医師の診断・指導を受けさせてください。
※特別配慮することがある場合は、職員へ御連絡ください。（食事、寝具など）
- 平地との気温差は5～6℃あり、夏場においても冷え込む場合があります。
持参する衣服は、1枚多めに用意するよう御指導ください。
- 入所日前までに体調を整えておくよう御指導ください。
- 救急用品、生理用品等は団体で準備してください。又、常用している薬のある研修者は、その薬を持参させてください。
- 救急および連絡用として、団体で緊急車両を御準備ください。
※救急車到着まで30分程度かかります。
- 医療機関を受診する場合は、健康保険証が必要になります。（写しも可）

研修期間中の健康・安全管理について

【健康管理】

- 各研修団体で、保健担当を決め、できるだけ利用される宿泊室の1室を保健室として利用してください。保健室のベッドで休養する場合は、宿泊室からシーツを持参してください。
- 医療機関までの距離が遠いことを考慮し、研修者へ体調に異常のある場合は早めに連絡するよう御指導ください。
（夜間、体調の悪い研修者がいる場合は、早めに事務室へ御連絡ください。）
- 野外活動時など館外へ出る際、宿泊室で休養する研修者がいる場合は、事前に事務室へ、団体名、待機される方の氏名、休養している宿泊室名、傷病の様子などを御連絡ください。（引率者が付き添いで残るようにしてください。）

【安全管理】

- 青年の家到着後、研修者各自に非常口と避難経路を確認させてください。
- 野外活動の際は、各研修団体で救護車を御準備ください。